

# 春秋

会報第70号 Mar. 2004

16.4.01  
法務省

特集① 応援します 宮崎 誠 会長

特集② 応援します 水田利裕 副会長

特集③ 司法改革最前線その3 (連続シンポジウム)

新しい弁護士像を求めて —社会のあらゆる分野で活躍する弁護士—



## 新人紹介

よろしくお願ひ致します！



吉岡 寛子

弁護士登録をして早いものでもう半年が経過しましたが、この半年間はあっと言う間に過ぎていったという感じです。坂和弁護士の厳しい(?)指導と事務局の優しい手助けに支えられてこの半年間、大きな失敗をせず、弁護士業をやったと思います。

1年半の司法修習生活を過ごしたとは言え、見るとやるのでは大違いで、自分で何かやろうとする度、分からないことが出てきてしまいます。大阪地裁のエレベーターに乗っては「民事第〇部」がどの階か分からず、ボタンを押せないまま、目的階が過ぎてしまうこともしばしば……。

私は善段、「自転車」で西天満界隈を移動しています。ボス弁の坂和弁護士と一緒に法廷に行く時も「自転車」です。当初は置いて行かれてばかりだった私ですが、最近は置いて行かれることも少なくなってきました。でも、稀に西天満界隈で自転車もろともこけてしまうこともあります(諸先輩方がそのような場面に遭遇された場合には、自転車を起こす手助けをして頂きますと大変ありがたいです。よろしくお願ひ致します)。

気持ちだけが先走ることあるかもしれませんが、バランス感覚を失することなく、一人前の弁護士となれるよう、日々精進していこうと思います。

法曹界の諸先輩方におかれましては、今後ともご指導願ひますよう、よろしくお願ひ致します。

悪評高き(?) 坂和事務所に大型新人登場!



坂和総合法律事務所  
坂和 章平

「人使いが荒い」、「怒鳴りまくる」などの悪評?高かった坂和事務所に、イキの

いい若手、それも女性弁護士が入所

した。26期の私とはちょうど30年違い。何か裏のカラクリがあったのでは?と思われる人がいるかもしれないが、それはなし。すべて本人の「慎重な」リサーチと決断に基づくもの。

昨年10月から今日まで忙しく走り回っているが、何でもこなしてケロっとしたものだ。資料の整理・パソコンでの書面づくり・法廷通い・依頼者への報告など新米とは思えない大活躍だ。やはり真面目な勉強と体育会系のノリの両方をこなしてきたヤツは違うなど感心しきり。したがってケンカなど一度もない。ただ、ボス弁として少し可愛想だと思うのは、坂和事務所では、最近、事件の種類が再開発関係などに少し片寄っているため、新米時代にひと通りこなしておくべき刑事・少年・家事などの事件がほとんどないこと。しかしそれも弁護士会の応援を得たりしながらうまくやっているようでひと安心。

他方、面白い仕事は、「いま、法曹界がおもしろい!」という本の執筆。これは坂和事務所編で、私と吉岡弁護士そして鶴津事務局長の3人の共著によるもの。司法試験やロースクールの受験生を主なターゲットとした本で、6月出版予定。法曹人口が拡大する今、「ひと儲け」するべく、初版から5000部と強気。これが完れば吉岡弁護士も一躍スターになれるかも……。そうすれば坂和事務所の悪評?も薄れ、以降次々と有望な若手が入所するかも……。それを期待したいものだ。

